

東京都のESG金融・環境施策



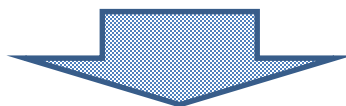
東京都 戦略政策情報推進本部
戦略事業担当部長 小川 祥直

東京都の目指す姿



= 日本経済のエンジン

社会的課題を解決し、
国際的な都市間競争に勝ち抜く成長を生み続ける
サステナブルな東京を作る



世界をリードする

環境先進都市

— 環境・エネルギー施策

国際金融都市

— 金融による社会的課題解決への
貢献

環境と金融の両立

東京都の環境関連施策

環境・エネルギー分野の取組

2019年5月、U20メイヤーズ・サミットにおいて、
気温上昇1.5℃未満を追求し、**2050年**までにCO₂実質ゼロに貢献する

「ゼロエミッション東京の実現」 を宣言



年内に「ゼロエミッション東京戦略」を策定予定

現行の企業支援・連携の例

*ゼロエミッションビークル（ZEV）：
電気自動車（EV）、プラグインハイブリッド自動車（PHV）、
燃料電池自動車（FCV）

● 自家消費型再生可能エネルギー発電等の導入補助

（例）



太陽光発電
（出力5kW以上）



風力発電
（単機出力1kW以上）



バイオマス発電
（出力10kW以上）

【補助率】中小企業等：2/3 大企業：1/2

【補助上限額】中小企業等：1億円
大企業：7,500万円

● ZEV*の車両購入費補助

（事業者の場合）

【補助額】燃料電池自動車：101万円～104万円

電気自動車：25万円

プラグインハイブリッド自動車：20万円

● RE100アクションミーティング

企業等とともに再エネ電力の利用や供給を
さらに拡大することを目指し開催（本年6月）

● 中小規模事業所向け省エネ診断

● プラスチック削減対策

東京都のESG金融関連施策

サステナブルファイナンスの普及・促進

「国際金融都市・東京」構想及び国際的なサステナブルファイナンスの潮流を受け、ESG投資の普及等、

サステナブルファイナンスの普及・促進に係る施策を展開

都 の 取 組



東京版ESGファンド



FC4Sへの加盟



東京グリーンボンド



City of Londonとの連携
(グリーンファイナンスセミナーの実施)



東京金融賞

国際金融都市・東京構想（2017年11月策定）

- 金融の国際的競争の激化や、金融業の活性化による成長戦略への貢献及び少子化を見据えた都民の金融資産の有効活用等の重要性が増したことを背景に策定

1 魅力的なビジネス面、生活面の環境整備

英語対応を含めた行政手続、税制等のビジネス面や、医療・教育などの生活面の環境を整備

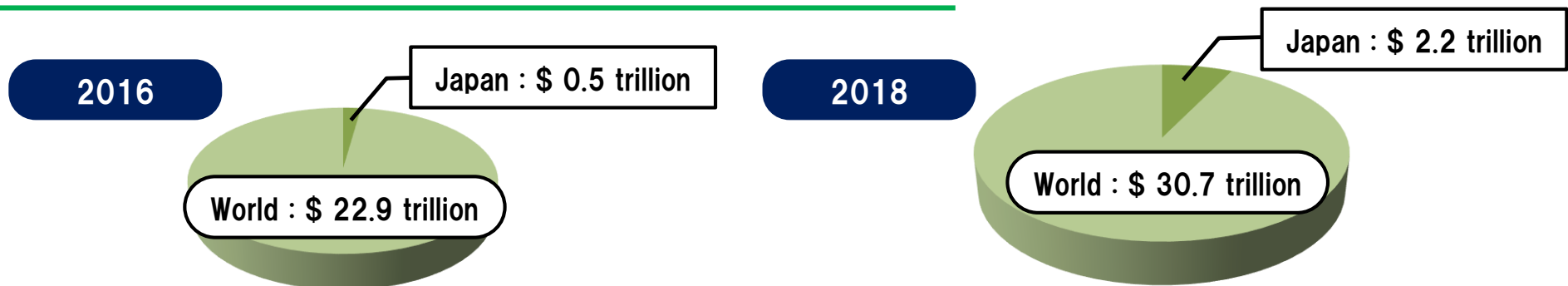
2 東京市場に参加するプレイヤーの育成

資産運用業やフィンテックを中心に国内外の金融関係プレイヤーの東京市場参入を促進

3 金融による社会的課題解決への貢献

投資家保護の徹底や世界的に注目されつつあるESG投資の促進などにより、**金融による社会的課題の解決に貢献**

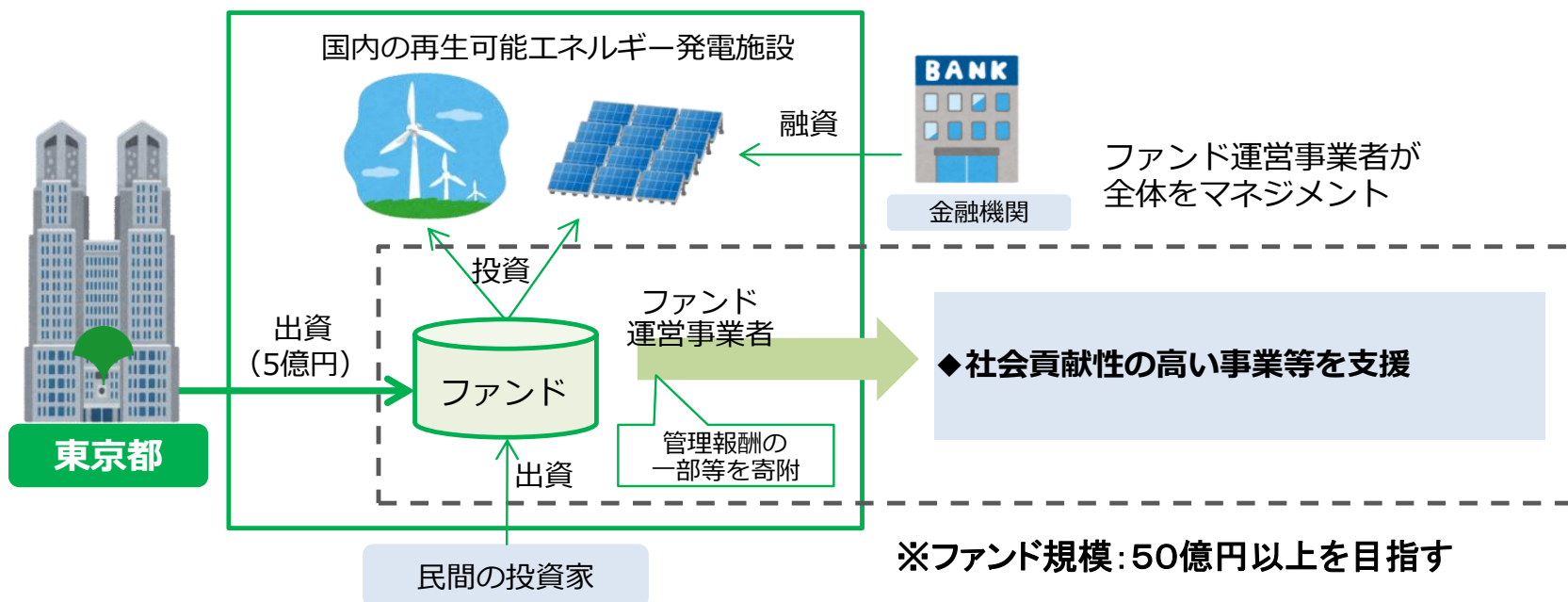
日本のESG投資の現状



東京版ESGファンド

- ファンド運営事業者が国内の再生可能エネルギー発電施設に分散投資
- 民間の投資家及び東京都が出資し、国内の再生可能エネルギー発電施設に分散投資を行うファンドを事業者が組成
- ファンド運営事業者は、管理報酬の一部等により、社会貢献性の高い事業等を支援
- ファンド運営事業者は、スパークス・アセット・マネジメント

※具体的な投資先は、ファンド運営事業者が選定



東京グリーンボンド

- 2017年10月（機関投資家向け）と12月（個人投資家向け）に、国内自治体として初めて、「東京グリーンボンド」を発行
- 以降、毎年総額200億円の発行を継続
- 個人投資家向けは、毎年即日完売

東京グリーンボンド

200億円

機関投資家向け
100億円

（円建て）

個人向け
100億円

（円建て又は外貨建て）

2017：1億1,700万豪ドル
2018：8,900万米ドル
2019：9,400万米ドル

（例）



都有施設への
太陽光設備の導入



都有施設・道路の
照明のLED化



都有施設のZEB化推進



投資を通じた都民・企業の後押しにより、施策を推進

東京金融賞 (1)

- 東京金融賞を2018年度に創設
 - 「国際金融都市・東京」のシンボルに

① 金融イノベーション部門

画期的な金融商品等の開発・提供を行う事業者

② ESG投資部門

ESG投資の普及を実践する事業者

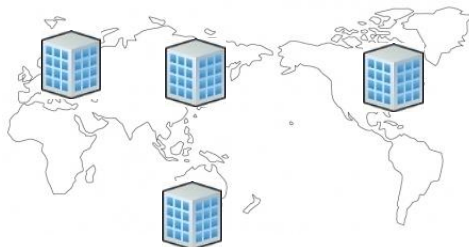
- 都民の金融に対するニーズ課題を募集
- 解決策を持つ金融事業者を募集



<http://www.senryaku.metro.tokyo.jp/gfct/>



都民の金融に対する
ニーズ・課題の募集
(5月頃)



課題・ニーズに対する
解決策(事業者)を募集
(8~9月頃)



有識者による審査
(10~1月頃)



表彰式
(2月上旬頃)

東京金融賞 (2)

2018年度の受賞企業（ESG投資部門）

Company

Neuberger Berman East Asia LTD.

※米国本社 of 資産運用会社。80年近い ESG投資実績を持つ

NEUBERGER BERMAN

Robeco Japan Company LTD.

※オランダ本社 of 資産運用会社。グループ会社の RobecoSAMは世界的に有名なESG指標を開発

ROBECO

SOMPO ホールディングス株式会社

※東南アジアにおける「天候インデックス保険」等ユニークなESG関連保険の提供

SOMPO
ホールディングス

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

三井住友トラスト・アセットマネジメント
SUMITOMO MITSUI TRUST ASSET MANAGEMENT

※海洋汚染・プラスチック問題に関するエンゲージメント活動に注力し、生物多様性ファンドの商品提供

表彰式の様子

2019年2月5日 六本木ヒルズ



東京金融賞
TOKYO
FINANCIAL
AWARD

FC4Sへの加盟

- UNEP（国連環境計画）が運営する**FC4S**（International Network of Financial Centres for Sustainability）へ本年**6月3日に加盟**
- 国際連携や情報発信を通じ、東京における**ESG投資等の一層の普及・拡大**

FC4Sの概要

設立	2017年9月 September 2017
本部	スイス・ジュネーブ
メンバー	30の金融センター Abu Dhabi, Casablanca, Nairobi, New York City, Toronto, Astana, Hong Kong, Seoul, Shanghai, Shenzhen, Barcelona, Dublin, Frankfurt, Geneva, Guernsey, Liechtenstein, London, Luxembourg, Milan, Paris, Stockholm, Zurich, Cairo, Lagos, Beijing, Tokyo, Lisbon, Madrid, Mexico City, Abidjan（2019年10月末時点）



加盟都市としての活動概要

- アセスメントプログラムの作成
- 年次総会への出席
- その他プログラムへの参加



City of Londonとの連携

- City of LondonとMOUを締結（2017年12月）

【連携分野】

①フォーラム等

②教育

③ESG投資・グリーンファイナンス

④プロモーション活動



グリーンファイナンスセミナーの実施

2018年4月、2019年5月



TOKYO
METROPOLITAN
GOVERNMENT



目的

- SDGsの推進を切り口に、キャッシュレスを推進。
 - ・ 都民等のSDGs活動に、**東京都独自のポイント（東京ユアコイン）**の形で経済的価値を与え、SDGs活動とキャッシュレスをともに後押し。
 - ・ SDGs活動が経済活動とつながる形で可視化されて促進。

具体的な内容

- まずは今年度中に、限定的に実証実験を行うモデル事業を実施。
 - ・ 都内の一部の地域で、「オフピーク通勤」や「プラスチックごみ削減」等を対象にポイント（民間決済サービスで利用可能）を付与。
 - ・ 経済的なインセンティブが、人々のSDGs活動への意識・行動の変化や決済のキャッシュレス化に及ぼす効果を検証。